

専門統計調査士 出題範囲表

大項目	中項目	小項目
1 調査企画	(1)基本設計	① 調査目的・対象・地域・時期の設定 ② 調査手法の選定 ③ スケジュール設定, 回収計画, 管理方法 ④ プリテスト(試験調査)
	(2)実施体制	① 受託の際の諸手続・契約 ② 調査の実施・運営体制(事務・業務配分・人員配置ほか) ③ 外注計画と管理方法
	(3)費用積算	① 費用積算の方法(直接経費, 間接経費, 一般管理費) ② 工程別の経費と管理
	(4)工程・品質・リスクの管理	① 業務委託・受託での留意点 ② 工程別の品質管理・監査(インスペクション) ③ 関係法令と対策(個人情報保護法, 統計法等) ④ 第三者認証制度(ISOなど)
2 調査票作成	(1)調査事項	① 調査目的と調査事項 ② 基本的な属性事項 ③ 調査事項の組み合わせと配列
	(2)質問と回答	① 質問文(ワーディング) ② 回答形式(プリコード形式/自由回答形式) ③ 選択回答形式(二項分類型, 多項分類型, 尺度型, 評定尺度型) ④ 選択肢の作成における留意点
	(3)付随資料	① 調査対象(世帯/個人, 企業/事業所等)の規定 ② 回答記入方法(記入のしかた等) ③ 調査票の付随資料(お知らせ等)
	(4)調査票・調査用品	① 様式(自計・他計, 単記・連記, 分量) ② デザイン(構成, 分岐, 配色等) ③ 依頼・挨拶・御礼
3 標本設計と結果の推計	(1)標本抽出方法	① 母集団と標本, 抽出枠 ② 無作為抽出と有意選出(割当法など) ③ 単純無作為抽出法(復元・非復元) ④ 系統抽出法(等間隔抽出法) ⑤ 多段抽出法(調査地点の考え方も含む) ⑥ 確率比例抽出法, 不等確率抽出法 ⑦ 層化抽出法 ⑧ エリアサンプリング ⑨ タイム・サンプリング
	(2)標本設計・結果の推計	① 標本規模・標本配分の決定 ② 標本誤差と非標本誤差 ③ 推定式 ④ 標準誤差の推定 ⑤ 未回収・未回答データの補完・補正
4 データの整理	(1)検査	① 回収票の点検, 疑義照会 ② エラーチェック, 修正・補完
	(2)入力	① コーディング ② データ入力(ベリファイ入力など関連手法を含む)
5 調査の種類と特徴	(1)収集データの種類	① 量的調査, 質的調査(定性調査), 特徴
	(2)調査対象の選定	① 全数調査, 標本調査(無作為抽出法, 割り当て法, 典型法)
	(3)アプローチ	① 探索的調査, 検証的調査
6 調査手法 (訪問調査)	(1)特性	① 長所と短所 ② 調査員の役割と確保・選任
	(2)実査と管理	① 調査協力の依頼 ② 教育の内容と方法(心得, ロールプレイングなど) ③ 進捗管理(工程管理, トラブル対応) ④ 調査用品, 資料, 回収票の管理 ⑤ 回収率向上策と回答の品質管理
7 調査手法 (郵送調査)	(1)特性	① 長所と短所 ② 調査内容・調査対象と有用性
	(2)実査と管理	① 督促・問合せ受付・回収進行管理 ② 郵送資材・謝礼等の工夫 ③ 回答の品質管理

8	調査手法 (電話調査)	(1)特性	① 長所と短所 ② 標本抽出法(RDD法, 顧客名簿) ③ 調査内容・調査対象と有用性 ④ 質問聴取, 疑義照会, 督促, 問合せ受付
		(2)実査と管理	① 実施体制の構築, コールセンターの管理・運営 ② 実査管理者の役割と機能 ③ 電話調査員の教育と指導
9	調査手法 (インターネット 調査)	(1)特性	① 長所と短所 ② 電子調査票 ③ 標本選定方法(アクセスパネル, オープン方式)
		(2)実査と管理	① システムの安全性確保(不正アクセス対策, システムダウン 対策, 人的セキュリティー) ② 回答の品質管理(本人確認, 不正回答, 重複回答)
10	調査手法 (装置設置型調査) 視聴率調査, スキャン 調査	(1)特性	① 長所と短所 ② 調査内容と有用性
		(2)実査と管理	① システム・機器の保守・メンテナンス ② 回答の品質管理(本人確認, 不正回答, 学習効果)
11	調査手法 (定点(観測)調査・ パネル調査)	(1)特性	① 長所と短所 ② 調査内容と有用性
		(2)実査と管理	① 実施体制の構築 ② 回答の品質管理(本人確認, 不正回答, 学習効果)
12	データ利活用の手法	(1)データの分析	① 度数分布, ヒストグラム, 箱ひげ図(四分位数), ローレンツ曲線 ② クロス集計(仕組みと見方) ③ 代表値(平均値・中央値・最頻値) ④ 散布度(分散・標準偏差・四分位偏差・変動係数, 分位数, ジニ係数) ⑤ 基準化, 歪度・尖度 ⑥ 散布図と相関係数 ⑦ 変化率と寄与度 ⑧ 多変量解析の理解と結果の解釈(回帰分析, 主成分分析, 因子分析, クラスタ分析)
		(2)データの評価・ 解釈	① 信頼区間の考え方と実際 ② 仮説検定の考え方と実際
		(3)調査・統計データ の実際	① 公的統計(人口, 労働, 消費, 物価, 生産, 生活統計, 国民経済計算, 季節調整法等) ② 業界統計 ③ 市場調査(視聴率, スキャンパネル, 広告調査, 官能評価, 製品開発, 顧客満足等) ④ 世論調査 ⑤ 社会調査
		(4)分析結果のまとめ	① 適切な表現方法の選択(要約統計量, 図・表の選択) ② 統計表の作成の仕方(階級区分, 分類) ③ 指標の作成